

03 観光・情報発信

基本情報



【年 齢】
30歳
【出身地】
滋賀県甲賀市
【転出元】
滋賀県甲賀市
【前 職】
IT企業
【活動時期】
R3.09～R6.09

協力隊に応募したきっかけ

今までに約20カ国の国を旅行し、改めて日本の良さ、価値に気がついた。自分が大好きな日本をもっとたくさんの海外の方に知ってもらいたい、日本で日本の良さを未来に残すビジネスがやりたいと思い、日本全国で場所を探していた。前職の出張で花巻市に訪れ、自分の夢を地域の方に語ったところ、「花巻でやりなよ」と言われたことが移住のきっかけ。花巻市の協力隊の制度は柔軟で、スタートアップに使えると思い応募した。

今後の抱負・任期後の目標

アドベンチャーツーリズム×バケーションレンタルを組み合わせたビジネスモデルを展開する。

活動内容

●ぼうまい村フェス 10hectareclubの開催

自分が1年間で感じた花巻（東和町田瀬）の魅力を限りなく詰め込んだ音楽フェスを企画。参加者でもちつきを行い、くるみもちを作ったり、ひつつみをふるまったり、神楽、和太鼓など地域に根付く文化を県外の方に体験してもらった。約100人規模のイベントとなった。



●ぼうまい村 農作業体験（のための研修）

ぼうまい村の特産品を作りたいと思い、庭に野生でも生えているホップ栽培を始めた。隣の遠野市は日本有数のホップの産地であるため、そちらで研修を受け、自分の村で栽培を開始した。そのほか蕎麦や夏野菜を栽培し、農作業体験をイベントにして、実施した。



●ジビエに関する取り組み（狩猟免許取得）

花巻市では駆除対象でしかないイノシシやシカに価値を感じ、ジビエに関する事業に取り組むため狩猟免許を取得した。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））info@hugmapache.com
（電話番号（個人））080-8341-3976

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（HP）<https://bomaimura.com/>

基本情報



【年 齢】
34歳
【出身地】
秋田県能代市
【転出元】
神奈川県横浜市
【前 職】
フリーランス
(イラスト等)
【活動時期】
R5.2～R8.1

協力隊に応募したきっかけ

私は子育てをしながらイラストの仕事を手伝っていましたが、安定した収入のために再就職を考えるようになりました。幼い子どもが2人いるため、再就職にあたっての優先事項は『子育てのしやすい環境』でした。能代市は待機児童がおらず保育園へすぐに入園できるといった点や、私の地元であるため市内近隣に頼れる親族や友人たちがいるといったことから、仕事をしていても子育てのしやすい環境であると考え、まずは移住先を能代市に決めました。

移住先決定後に能代市の就職先を探していた際、以前知人が地域おこし協力隊として活動していたことを思い出し、能代市の地域おこし協力隊を調べたところ募集中の枠を見つけました。条件としても良く、イラストのスキルなども活かせると考え、応募に踏み切りました。

今後の抱負・任期後の目標

私の担当は『宇宙のまちづくり』です。

現在は 宇宙のまち×Virtual Projectとして、Vtuber「宙彩しろん」を主体としたSNS活動を市内外に向けて発信しています。ゆくゆくは宇宙のまち・能代のお土産品の開発や観光ガイドパンフレットの作成、また、市内の小中学生に向けた宇宙の学習会などを行い、子どもたちに宇宙への興味関心をもっと持って頂きたいと考えております。

活動内容

●宇宙のまち×Virtual Project

Vtuber「宙彩しろん（そらいろしろん）」による能代市のPRプロジェクトです。キャラクター名の剪定にあたっては、市内の小中学校および一般向けに公募をおこない、1615件もの応募をいただきました。

能代市は、JAXA能代ロケット実験場があることから、宇宙のまちづくりを進めております。

宙彩しろんによるXやYouTube等のSNSでの能代のPR情報発信のほか、市内で行われるイベントとのタイアップにより、能代市の宇宙のまちづくりを盛り上げています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

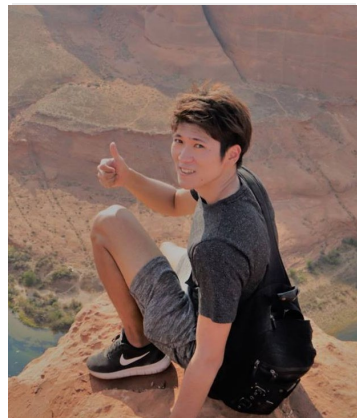
(メールアドレス(能代市担当)) katsuryoku@city.noshiro.lg.jp

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

(X) https://twitter.com/UVP_Noshiro

(YouTube) <https://www.youtube.com/channel/UCQV2OwZTTN-JO1d3KDpKxiw>

基本情報



【年 齢】
27 歳

【出身地】
東京都 港区

【転出元】
神奈川県 川崎市

【前 職】
楽天グループ株式会社

【活動時期】
R4.5～

協力隊に応募したきっかけ

楽天グループで培った起業家精神を基に、地域が抱える課題をビジネスの手法を用いて解決をしたいと思い、茨城県北起業型地域おこし協力隊に応募。

豊富な海外経験、語学力、映像企画・製作力を活かし、茨城県北地域の外貨獲得に貢献したいと考えている。

今後の抱負・任期後の目標

行政や企業からの請負型事業をするだけでなく、地域の小規模事業者・伝統文化事業者と連携して、「メディア×EC」プラットフォーム事業を確立させること。

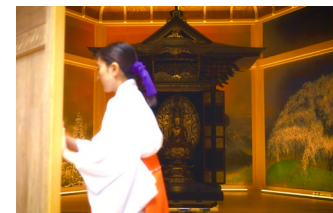
今後の外貨獲得市場No.1市場であるインバウンド需要の波に地域を巻き込んで、活性化を促すことが目標。

活動内容

●インバウンド向け 地域ブランディング事業

適切なマーケティング・ブランディング戦略の構築、それに基づいた映像製作・チャンネルの運営を包括的に遂行。

「綺麗な景色」や「インフルエンサー頼み」の端的なプロモーションではなく、インバウンド層の「伝統・文化的体験」欲を満たす、コンテンツを展開。



●国内向け行政プロモーション(観光・移住・ブランディング)

単発のコンテンツを展開し、再生回数に応じて一喜一憂するのではなく、市が掲げるブランドメッセージ設計、ターゲット設定、コンテンツ企画製作、メディアの運営を包括的に担当することによって、地元民のシビックプライドを向上させ、地域の活性化を図る。



●伝統文化・工芸品の海外プロモーション/商品プロデュース/EC販売事業(準備中)

伝統文化や伝統工芸に携わる小規模事業者と連携して、海外富裕層の需要にマッチした商品のプロデュースからプロモーション、販売まで伴奏し、収入・後継者不足の課題を解決する。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】 contact@monotalk-studio.com

(メールアドレス(個人or職場)) contact@monotalk-studio.com
(電話番号(個人or職場)) 090-4246-7346

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
www.monotalk-studio.com

基本情報



【年 齢】
26歳
【出身地】
山梨県都留市
【転出元】
山梨県都留市
【前 職】
飲食店勤務
【活動時期】
R1.8～R6.3

協力隊に応募したきっかけ

学生の頃から「地域に密着して地域の人と一緒に仕事がしたい」と思っていました。前職を辞め、地元に戻ったタイミングで地元で活躍する地域おこし協力隊員と出会い、地域おこし協力隊とは何か、活動を通しての地域との関わりなどを聞いていく中で「私のやりたい仕事はこれだ！」と思い、協力隊に応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

2019年から始まり5年目となった協力隊生活も残り半年を切りました。今年は地域の方々とNPO法人を立ち上げ、イベントの企画をする傍らでコミュニティカフェをOPENさせるべくDIYを進めています。このカフェは任期後の勤め先となり、デザイン事務所も置かせてもらえることとなっています。残りの任期は自分の任期後に向けて準備をしていくとともに、協力隊のうちにもっとたくさんの人脈を作っておきたいと思っています！

活動内容

●イベント企画・お手伝い

市で開催する大きなイベントから地域の人が開催する小さなイベントまで幅広く携わっています。自分自身でもイベントを企画したり、運営や撮影、チラシのデザインなど様々な形でお手伝いをしています。今年はほぼ毎月主催イベントを開催してきました。



●情報発信

情報発信に必要な魅力発掘、写真・動画の撮影から自分で行ない、Instagram、X、Facebook、YouTube、ウェブサイトなどの様々な媒体での情報発信をしています。また、物産展や県内外のイベントにも参加し、渋川市のPRを行なっています。



●デザイン

イベントのチラシやポスター、地域商品券、物産展のPOP等のデザインをしています。また、協力隊の情報発信用ウェブサイトもデザインし日々更新しています。今年は「伊香保女子旅」というパンフレットも制作しました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス個人) ngmk5190@gmail.com
(電話番号個人) 090-9299-8279

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

(webサイト) <https://shibukawakyouryoku.wixsite.com/mysite>
(Instagram) https://www.instagram.com/_ngmk_/

基本情報

【年齢】

29歳

【出身地】

埼玉県所沢市

【転出元】

神奈川県平塚市

【前職】

小松製作所

【活動時期】

R3.7～活動中



協力隊に応募したきっかけ

昔から自然や離島が大好きで、自給自足への憧れがあり、いつか島暮らしをするという夢がありました。移住前は重機メーカーに勤めていたのですが、休日に遊びに行った”三宅島の地球の力強さを全身で感じられる大自然”に惚れてしまい、移住を決断しました。そこで三宅島の地域おこし協力隊の募集を見つけ応募したのがきっかけです。

今後の抱負・任期後の目標

三宅島でゲストハウスをオープンしたいです。
魚突きが得意なので、自分が採った魚でお客さんをおもてなしします。

活動内容

三宅島では雄大な星空が広がっており、星空ガイドをしたりSNSを活用して、その魅力を伝える活動をしています。
また東京都内のイベント時には動画やプレゼン資料を作成し、星空だけではなく、三宅島全体のPR活動を行っています。

① 星空ガイドの広告

9月14日・15日 星空ツアーを開催します！
詳細は2枚目へ！



担当者：地域おこし協力隊 落合

② 都内でのイベント時の三宅島PR活動の様子



連絡先

メールアドレス(個人): naoto.ochiai.0610@outlook.jp

電話番号(個人): 090-9000-8057

【活動の様子を発信しているSNS】

https://www.facebook.com/Miyakemura.muraokoshi?locale=ja_JP

https://www.instagram.com/welcome_miyake/?hl=ja

https://twitter.com/welcome_miyake

基本情報



【年 齢】
28歳
【出身地】
イギリス ロンドン
【転出元】
東京都世田谷区
【前 職】
AI inside
【活動時期】
R5.9～

協力隊に応募したきっかけ

小松市は、美しい自然、美味しい食べ物、多種多様な産業や生産に恵まれた知られざる街です。
定期的にこの地を訪れ、地元の人々と触れ合うなかで、小松を国際的なデスティネーションとして発展させるために、努力したいと思い応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

クラフトやフードチェーンに携わる情熱的な人々と、一流の海外のシェフ・アーティスト・インフルエンサー、食やアートに関心のある日本人を結びつけるプラットフォームを作りたいです。
GEMBAで繋がった生産者・職人・会社と一緒に、そして個人で企画しているイベント「ishinoko」を通して海外から学びに訪れるお客様向けのコンテンツを引き続き企画したり、そのブランドを展開していきたいと考えています。

活動内容

●インバウンドのお客様に魅力的な体験を構築

海外からのお客様に、小松の魅力を知っていただけるようなプログラムを考えています。
さらなる小松の魅力を発掘したり、コンテンツ制作やプロモーションや翻訳など、海外からのお客様を受け入れるためのさまざまな業務を行っています。



●食関連の生産者やシェフのプログラムを充実

個人で企画しているプロシェフを招くプログラムをGEMBAに連携。小松の食に携わる生産者や酒造を訪れ、小松の美味しいものを知って学べる内容として展開しています。



●通年プログラムをよりスムーズに参加できるように

駅や空港にきた観光客が、年間を通じて小松のものづくりを知ることができ、すぐに参加や見学ができるようなプログラムを構築しています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

grahamdsdavis@gmail.com
080-2121-9416
www.ishinoko.jp

基本情報



【年 齢】
33歳
【出身地】
愛知県清須市
【転出元】
愛知県清須市
【前 職】
株式会社伝泊プラス工芸
【活動時期】
R5.10月～

協力隊に応募したきっかけ

ものづくりの街として発展してきた小松市は四季折々の景色が見られ、文化的にも非常に興味深いです。前職が宿泊業で観光分野に関心があったことに加えて、私自身もものづくりが好きなので、今回応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

過疎化が進んでいる大杉町でキャンプなどアウトドアができる場所を開拓し、交流人口を増やす取り組みをしたい。

活動内容

●GEMBAモノヅクリエキスポの事務局

GEMBAモノヅクリエキスポの事務局としてエキスポを盛り上げていきます。各事業所のお手伝いをします。



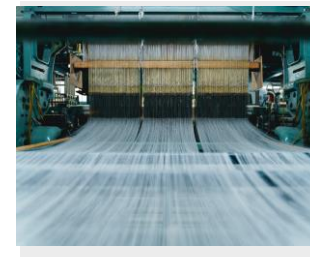
●商品開発,販路支援 KAKEDASUの立ち上げ

各事業所それぞれの想いを聞いて、商品開発を支援します。



●通年プログラムの増設

エキスポイベント以外で通年プログラムの開催できる事業者の支援をしていきます。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス(個人)) sagoyama3521@gmail.com
(電話番号(職場)) 050-1809-0007

基本情報



【年 齢】
27歳
【出身地】
石川県金沢市
【転出元】
石川県金沢市
【前 職】
飲食店勤務・フリーカメラマン
【活動時期】
R5.4～R6.3

協力隊に応募したきっかけ

これまでの経験を活かし、地域活性化に貢献できればと思い応募しました。

また、子育てのしやすい環境を考えたところ、子育て支援が充実していること、自然が豊かで公園が多いこと、金沢市までのアクセスが良いこと等、全ての環境が整っていた内灘町に移住したいと決めました。

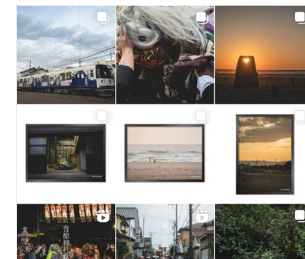
今後の抱負・任期後の目標

写真や映像を通して地域住民との交流を深めながら、国内外に内灘町の魅力を発信していきたいと考えています。
任期後については、カフェの経営を考えており、観光客と町民が気軽に訪れることができる憩いの場を作りたいと考えています。

活動内容

●情報発信、P R

SNSを活用した内灘町の魅力発信を行っています。
観光地として有名どころはもちろん、あまり知られていない観光スポットなどを紹介しています。
また、町や地域のイベント等の撮影も行っており、多くの方々と関わる機会が多いため、学ぶことが沢山ありとても刺激になります！



●観光ボランティアガイド

内灘町観光案内所にて、観光案内やレンタサイクルの貸し出しを行っています。
訪れる方々に満足いただけるよう「おもてなしの心」を大切にしながら日々業務に取り組んでいます。
内灘町に遊びに来られた際は、みなさん是非立ち寄ってくださいね！



●みにくるツアーガイド

内灘町の観光スポットをみにくる（E V ミニカー）で周るツアーガイドを行っています。
河北潟にある雄大な牧場や夏には内灘海岸等を周遊でき、美しい景色を満喫できます。
みにくるを通して、多くの方々に内灘町の魅力を感じていただけるよう頑張ります！



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）kawai.utok@gmail.com
（個人電話番号）080-4254-9496

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）<https://www.instagram.com/kawai.utok/>

基本情報



【年 齢】
33歳
【出身地】
富山県魚津市 (実家)
【大学時代】
石川県野々市市
【転出元】
岐阜県大垣市
【前 職】
精密加工業 正社員
【活動時期】
R05.08～R08.07(予定)

協力隊に応募したきっかけ

以前から、イベントで出会った別の地域の協力隊員の活動に憧れていました。今でも人として尊敬しています。色々あり前職を辞めようとするも転職先が決まらず、最後の望みで協力隊に応募したら内定を頂いたので決めました。プラタモリみたいなことが好きなので今の仕事が合っています。地方創生に以前から興味があったこと、旅行が好きで各地を実際に見ていたこと、信頼できる仲間から応援されたこと、これらが自分を後押ししました。

今後の抱負・任期後の目標

地域の方々と積極的にコミュニケーションして大勢の信頼を得る。活動にも積極的に参加する。
コーヒー焙煎の修行をして腕や知識レベルを上げる。
個人事業主になり無店舗でコーヒー豆をネット販売する。
株式会社を立ち上げて、コーヒー焙煎をベースとしたカフェをオープン。インバウンドから地元の方々までが集える場所にしていく。
自治体を超えて広域に、カフェや環境に関するイベントを開く。サステナブルアウトドアブランドを立ち上げる。

活動内容

●アーカイブ化事業

「信濃おおまち みずのわプロジェクト」の主テーマとして、大町市内に点在している「水」に関する情報を整理してわかりやすい状態にすることで、教育・観光・移住など多方面で誰もが簡単に使える状態にしていきます。立ち上げからなので試行錯誤中です。



●取材とSNS発信 (Instagram:@mizunowa_omachi)

「大町の水」をテーマに、地域の企業・店・農家・サービスなどを取材して発信しています。地域全体を底上げ的に活性化するのを目指しています。それ自体が自身の勉強にもなります。動けるうちに動いておくことが、地域にとっても自身にとっても未来への投資になると信じています。



●地域交流・イベントや団体への参加

業務の内外問わず、大町市周辺の行事や団体に参加するようにしています。自分から動けば周りが巻き込んでくれます。興味のあるイベントに参加可能なものは、業遠方であっても積極的に参加しています。活動は随時個人SNSで発信しています。水に関連するものは公式の方でも発信する場合があります。



連絡先

長野県 大町市役所 総務部 企画財政課 企画調整係
信濃大町地域おこし協力隊
TEL : 0261-22-0420(内521, 内522) / FAX : 0261-23-4304
E-mail : ryo.osaki@city.omachi.nagano.jp
Gmail : swordpraks1990@gmail.com (個人)
Instagram:@tabitabigram (個人) , X:_tabi_tabi (個人)

基本情報



【年 齢】
27歳
【出身地】
東京都江戸川区
【転出元】
東京都江戸川区
【前 職】
農家アルバイト
【活動時期】
R4.4～R7.3

協力隊に応募したきっかけ

前職の勤め先の農家の方が地域おこし協力隊OBの方で、「地域おこし協力隊」というのがあるよ！と教えていただき、初めて知りました。
長野県内の協力隊を探していて、筑北村の募集を見つけ、地域のために自分もお役に立ちたいと思い、応募しました。同時に空き家も探していて、不動産屋さんに紹介していただいた家を見て「いいなあ」と思い、空き家を購入しました。知り合いもいなく、どうい土地かも分からないまま筑北村にやってきました。

今後の抱負・任期後の目標

私は推し活をしていて、住んでいる地域に推し活ができる場所がありません。だったら自分で作ればいいのでは？と思い、姉と一緒に「推し活ができる飲食店」をはじめます！
お店の名前は【筑北村のスマイリーカフェとにこにこごはん屋さん】です。定食や居酒屋メニューも楽しめます。おすすめは村唯一のソフトクリームとラテプリントです。協力隊卒業までにお店を軌道に乗せることが目標です。

活動内容

●観光情報発信

- ・2022年10月に観光情報を発信するSNS「X（旧Twitter）」「Instagram」を開設
- ・筑北村協力隊Facebook
- ・安曇野FM
- ・筑北村てくてくブログ
- ・TV出演



●修那羅石神仏ガチャ

観光スポットである「修那羅山安宮神社」にある石神仏をガチャにしました！お手軽なお土産、PR、そして神社や石神仏を知ってもらい、大切な文化財の保存につながればと思い、企画しました。
ガチャをした後も楽しめるイベントとして「フォトコンテスト」と「塗装ワークショップ」も開催！
第2弾は令和6年7月27日に発売！



●キャラクター

村にPRキャラクターがいみせんでしたが、昨年の夏に観光課で行った「推し神仏探しスタンプラリー」のキャラクターとして修那羅大天武と猫神様になりたいネコのキャラクターを誕生させました。村の公式PRキャラクターになれるように育成をしています。

筑北村キャラクター



連絡先



観光情報「X」
(旧Twitter)



観光情報
Instagram



協力隊
Facebook



協力隊
Instagram



個人「X」
(旧Twitter)



個人
Instagram

基本情報



【年 齢】
27歳
【出身地】
和歌山県 橋本市
【転出元】
大阪府 大阪市
【前 職】
学生
【活動時期】
R3.3～ R6.3
(3年目)

協力隊に応募したきっかけ

学生時代、大学を休学し、コピーライターとして大阪の出版会社で勤めておりました。1日の多くの時間をPCの前で過ごし、自然が身近にない生活に違和感を感じていました。鹿児島県にある屋久島へ一人旅へ行き、田舎暮らしの豊かさに感化され、田舎の人の温もりや自然の豊かさを感じながら「生きる選択肢」を探していました。そんなタイミングで、宇治田原町と出会い、まちの人や自然に魅力を感じて協力隊に応募するに至りました。

今後の抱負・任期後の目標

憧れの生活とはいえ、食べていけなければ活動は続けていくことができません。任期後、生計を立てられる事業を築いていきたいです。また、地域の方々に返せないほどの恩恵をいただいております、なんらかの形で返ししたいので、自分が生計を立てられるだけでなく、地域の方々に少しでもお返しできる事業を築いていきたいと思っております。また、大阪で仕事をしていた時、生きる気力を失っていた時期がありました。いつか、そんな人たちを温かく迎え入れる環境を作ることができたらと思っています。

活動内容

●観光交流拠点施設「宗円交遊庵やんたん」の運営支援

宇治田原町の観光交流の拠点「宗円交遊庵やんたん」の運営支援として、接客・会計・渉外・在庫管理等を担っています。イベント運営のサポートも任されており、2022年10月に開催された「やんたんマルシェ」では、企画・準備・出展者の呼びかけ等を行いました。



●地域の自然を利用したイベント・講座等の開催

令和3年度・令和4年度には、地域にある豊かな自然を活かした子ども向けイベントを開催。計4回のイベントを開催し、累計33名の参加がありました。今後も地域の自然・文化に触れることのできるイベント等を開催する予定。



●地域の特色を活かした商品開発と情報発信

「協力隊通信」として、地域の観光施設等をインスタやFBで発信中。また、昨年度からの取り組みとして、耕作放棄茶園を整備し茶の実を収穫して「美容オイル」を商品化・販売しています。収穫や皮むき等の作業は地域の方々にもお手伝いいただいております。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
[メールアドレス] shoukou@town.ujitawara.lg.jp (宇治田原町産業観光課)
[電話番号] 0774-88-6638 (宇治田原町産業観光課)
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(協力隊通信)
https://www.instagram.com/ujitawara_kyoto/?hl=ja
<https://m.facebook.com/宇治田原町観光情報-150800842112695/>

基本情報



【年 齢】
23歳
【出身地】
大阪府 大阪市
【転出元】
大阪府 大阪市
【前 職】
学生
【活動時期】
R5.4～（2年目）

協力隊に応募したきっかけ

大学時代は、展覧会やアートプロジェクトの企画と運営、SNSを活用した広報活動を経験し、就職活動でもそのような経験と特技を生かすことができる環境を求めるようになり、移住スカウトサービスを通じて御坊市を見つけました。特技と経験が、地方にこそ需要が眠っていることと、自然が身近にある暮らしを自分もできるという可能性を感じ、応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

「地域の魅力」や「情報発信」とは何なのか追求しながら、広報活動や面白いことづくりに取り組んでいきたいです。昔から「田舎には娯楽がない」とくられがちですが、豊かな自然や伝統といった、お金を積んでも手に入れないような田舎の強みも、暮らし始めてから強く実感しています。「こんな娯楽がありますよ」と提示できるようなモノや人々が絡み合うコト作りをしたいです。

活動内容

●観光資源の開発・情報発信

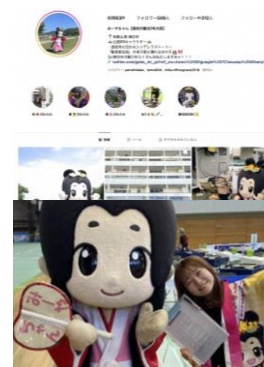
WEST EXPRESS銀河（JR）での車内物販PR、野口オートキャンプ場でのキャンピングカーオフ会、サイクルフェスタHUBなど各種イベントでの御坊市の物販・観光PRやS i o トープでの鯉の餌ガチャなどの観光体験の開発などに取り組んでいます。



●御坊市観光PR大使「みーやちゃん」のPR

「宮子姫伝説」の認知度を高めるために地域の方々が作られた ゆるキャラ「みーやちゃん」の更なる認知度の向上のため、めりえコンテストの実施や各種イベントでの出演等を実施しています。

その他、情報発信では、みーやちゃん公式Instagramの運営を開始し、Twitterの運営を引き継ぐなど、御坊市の情報をSNSを中心に発信しつつ、みーやちゃんの認知度向上に取り組んでいます。



●御坊市公共物にかかるモノのデザイン

今年度の新装するマンホール蓋や、市が所有する公園内のウォーキングコースにかかる道路標示、注意喚起の看板といった公共物のデザインにも取り組んでいます。



連絡先

- メールアドレス | bm-27315@city.gobo.lg.jp
- 電話番号 | 0738(23)5531
- Instagram（個人） | @shibutanima
- Instagram & Twitter 御坊市PRみーやちゃんアカウント（運営担当） | @gobo_mi_ya

基本情報



【年 齢】
39歳
【出身地】
京都府福知山市
【転出元】
東京都小平市
【前 職】
株式会社オールアバウト
グローバル推進室
【活動時期】
R5.6～現職

協力隊に応募したきっかけ

前職で地方創生／インバウンド・アウトバウンド事業に関わる中で特に日本のさまざまな地域資源の個性が世界にとって大きな価値を有していることを感じ、東京からマク口に働きかける重要性を超え、地域に入りこんでその魅力の再発見と高付加価値化を実施したいと考えようになったため。

今後の抱負・任期後の目標

温泉津地域のブランド確立と地域資源の高付加価値化を実施し、インバウンド／アウトバウンド双方への取り組みを強化し、スタートアップ地域として未来志向の取り組みに積極的に地域が面となって取り組めるように働きかけたい。

活動内容

●温泉津ブランディング

中国経済産業局 令和4年度「デザインで魅力的な地域に!中国地域プロジェクト」の採択を受け、「地域のブランド」構築を実施。タグラインとステートメントを策定し、地域の各所でのブランディング活動を継続中。



●地域コンテンツの高付加価値商品化

やきもの館での窯元との作陶体験や福光石切場匂いける石像彫師との彫刻体験、地元の若林酒造との日本酒ペアリングを楽しむ夜神楽公演など、地域が持つコンテンツ資源を磨き上げを行う事業のサポートを実施。



●みなとオアシス #湧くで温泉津 立ち上げ

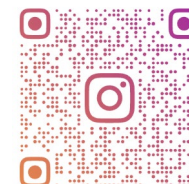
温泉津港は釣り人に愛され夏は花火大会で活用される一方、日常的な港としての利活用が活性ではないため、みなとオアシスとして登録し、ヨット利用者のマリーナとして、また地域振興の朝市活用など可能性の幅を広げていくよう取り組む。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
メールアドレス（個人） nishida@genshosha.jp
電話番号（個人） 070-8430-6827

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://www.instagram.com/yukanishida_/



基本情報



【年 齢】
30歳
【出身地】
千葉県千葉市
【転出元】
千葉県千葉市
【前 職】
WEBマーケティング
【活動時期】
R5.8.1～R8.7.31

協力隊に応募したきっかけ

「自分のスキル（WEBサイト運営・SEO対策）を活用した仕事」×「社会貢献性が高い仕事」がしたいという思いからローカルメディアというWEBサイトを立ち上げたいと考えようになりました。ローカルメディアを運営するうえでの問題を解決するための手段として、地域おこし協力隊に注目。

人口や観光コンテンツの充実度、事業者の数、募集要件、サポート体制など様々なフィルターで地域を絞り込んだ結果、双方から見たマッチ度が高い防府市を見つけました。

今後の抱負・任期後の目標

メイン業務をSNSによる情報発信、WEBサイトによる情報発信としています。

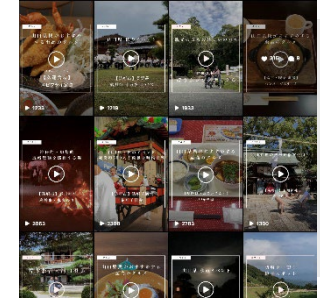
SNSにおける目標は、「取材を通じて地域に詳しくなること」「アカウントを成長させること」「退任後も職員が運用できる体制を作ること」です。

WEBにおける目標は、データ収集を終え基本的なページを作り、まずはサイトを公開することです。

活動内容

●SNSアカウントのグロース

防府を知ってもらうことを目的とします（0→1施策）。そのため拡散性が高く視聴ハードルが低い「短尺動画」による投稿を徹底する戦略を用いています。毎週100-150人フォロワーが増加しており、1動画につき約300いいね、約3000再生されるアカウントに成長しています。



●新規メディアのリリース

防府に来ることを比較検討している人や実際に防府来た人が簡単に情報を発見できることを目的とします（1→100施策）。戦略は「オンライン」と「オフライン」の2種類。オンライン施策は検索キーワード対策（SEO対策）。オフライン施策は施設やお店にポスターやPOPなどを設置することを考えています。



既存で観光コンベンション協会の公式サイトがありますが、新規サイトを立ち上げ、棲み分けをし上原個人に帰属させています。「1.個人サイトならではの細かな立ち回りができること」「2.退任後も職員の負担になることなく自走できること」が本施策の特徴です。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】

- メールアドレス（個人） www.haruto.uehara0804@gmail.com
- メールアドレス（職場） h.ueharahofukan@gmail.com
- 電話番号（個人） 080-5017-5078
- 電話番号（職場） 0835-25-2148
- ほうふもくら <https://hofu-moola.com/>
- インスタグラム https://www.instagram.com/tabitabi_hofu/

基本情報



【年 齢】
27歳
【出身地】
愛媛県四国中央市
【転出元】
高知県土佐市
【前 職】
観光協会職員
【活動時期】
R4.4～(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

「日本一の紙のまち」である四国中央市では、観光の仕事はないと諦めてきた人生でした。2019年大学卒業後、新卒で旅行会社に就職するも2020年、新型コロナウイルス流行により退職しました。観光協会職員に転職してからも、観光事業の制限が緩和されず、地元での転職先を探していく中で協力隊の募集に出会いました。観光促進がミッションの協力隊が募集されており、地元の観光を外からの移住者に任せるのではなく、地元出身者が盛り上げるべきだと考え、協力隊の応募を決意しました。

今後の抱負・任期後の目標

高校卒業後、7年間で県外で過ごしたのちに帰ってきた地元は落ち着く場所であり、今後も楽しく人生が送れる場所であると確信しております。3年目や任期後も、自分らしく地元で楽しんでいる姿を発信し、移住希望者や次期地域おこし協力隊にとって移住したい場所の選択肢にしてもらえるよう活動していきたいです。

協力隊の任期中は、自分のやりたいことを実行してミッションを遂行していますが、任期後は地域や次世代のサポートをしていきたいと考えております。

活動内容

●地域資源を活用したイベントの企画・運営

「日本一の紙のまち」四国中央市が誇る手漉き和紙の文化、香り高い新宮茶、豊かな自然環境等を活かしたイベントを企画・運営し、観光促進に努めています。《これまでの実績》

- ・四国中央市フォトロゲイニングin新宮
- ・手漉き和紙×新宮茶体験 など



●愛媛大学、川之江高等学校と連携した観光促進

愛媛大学「観光文化論」の授業でゲスト講師を務め、受講生100名から新宮で観光促進に繋がる体験型イベント案と観光MAPリニューアルの意見を募集しました。観光まちづくり分野を学ぶ大学生と観光MAP作成を、母校の川之江高等学校で結成された【川高協力隊】とは協働して新規体験プログラム造成を行っています。



●移住フェアへの参加、協力隊募集オンライン説明会の開催

首都圏で開催されている移住フェアに参加し、移住希望者へ四国中央市のPRを行いました。次期協力隊募集にも力を入れています。また協力隊募集に関して、個別でオンライン説明会を開催することで、遠方からでも協力隊に関心のある方が応募できるよう、努めています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

メールアドレス（職場） MAIL:m.ohiro@city.shikokuchuo.ehime.jp
電話番号（職場） TEL:0896-28-6410

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

（四国中央市地域おこし協力隊Facebook）

<https://www.facebook.com/chiikiokosi.shikochu>

基本情報



【年 齢】
26歳
【出身地】
神奈川県横浜市
【転出元】
東京都世田谷区
【前 職】
人材系
【活動時期】
R4.4～R7.3

協力隊に応募したきっかけ

自然と共に暮らしていきたいと昔から考えていました。そのきっかけは小さいころ週末に釣りや虫取りに両親に連れて行ってもらっていたからだと記憶しています。しかし、中々踏ん切りがつかない中で東京で開催された「高知県移住フェア」に参加しました。偶然、東洋町のブースでお話を聞き、仕事内容や人そして自然など私自身が探しているものとマッチングしたことで協力隊に応募、移住のきっかけとなりました。

今後の抱負・任期後の目標

地域おこし協力隊としては、観光案内所としての更なる機能強化(情報の発信方法、動画コンテンツ拡大)を図っていきます。また、海上アスレチックの利用者増の為に広報や規模拡大にも力を入れていきます。そして新たな地域活性化の足掛かりになる新しいコンテンツ発掘に他の隊員と協力しながら尽力していきたいと考えています。任期後の展望としてはまだ明確なものはなく、様々な事に挑戦し選択肢を広げている最中です。これからも新たな可能性を模索していきたいと考えています。

活動内容

●海上アスレチック運営

人材確保から海上アスレチックの設置撤収営業まで一気通貫で行っています。地元の方々と協力しながら海上アスレチックを通じて東洋町の魅力を発信することができ、今では夏の東洋町の名物となっています。



●野根川オートキャンプ場運営

令和4年5月にOPENした「野根川オートキャンプ場」の管理・維持を他の隊員と協力しながら行っています。常に利用者様に気持ちの良い思いをして帰っていただくをモットーに心がけています。最近ではキャンプ場予約サイトで高知県内3位に入るなど徐々に知名度も広がってきています。



●観光案内所業務

観光案内所の役割として観光案内や町の情報管理、HPの更新等を積極的行っています。SNS運営も行っており、町の魅力が詰まったショート動画を作成し、発信していくことにも力を入れています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス(職場)) kanko@toyo-kochi.com
(電話番号(職場)) 0887-23-9500

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(ああああ) <https://> Q Rコードも可